

「雑草魂」第72号

2021.2.15(月) 編集責任者：橋山 直記

☆推薦入試を終えて Part 1 ☆

私は、前日から少しづつ緊張していました。けれど、いろんな先生たちから、「どこの中学よりも練習はしとるけん自身持って」という声を頂き前日はぐっすりと眠ることができました。当日は緊張して朝4時半に起床しました。八女工業高等学校に行っているときも何度も見直し、自己PRを練習していました。高校につくと永尾先生が校門で待っており、自身持ってと励ましてくださり自身を持って行くことができました。はじめは体育館で諸注意を聞く時間が十分程ありましたがそのときも自分の言うことを何度も頭の中で唱えていました。その後面接まで待てる時間が30分ほどありました。土木科では僕が一番最初でいつ来るのかとドキドキしていました。面接では初めに、受験番号をいうのかとおもったけど「昨日はぐっすりと眠ることはできましたか?」という質問から始まりリラックスして取り組むことができました。面接が終わり親の迎えが来る間は、面接のときの自分を振り返り失敗はないか、こうすればよかったですなど、考えてましたが、大丈夫と自分に言い聞かせてました。このように自身を持って取り組むことができたのも、先生たちや、友達のアドバイスのおかげもいっぱいありますが、一番は久美子先生にたくさん指導して頂いたことや、校長先生を含めるたくさんの先生に面接練習をしてくださったことです。本当に感謝でいっぱいですが、感謝を表すことは合格しかないので、必ず合格したいです。はじめは、推薦を甘く見ていましたが、厳しいものでした。だけどやってきてほんとうによかったです。今は不安もありますが、合格していることを願うだけです。

推薦入試を通して改めて先生や友達、家族の大切さを感じることができました。

私は毎回の面接練習のたびにとても緊張していました。最初は、質問に対して答えることができないときの不安や、何回も噛んでしまったときの恥ずかしさが、何度もありました。その時、受験のときこのようになってしまったら、どうしようと行った不安しかありませんでした。しかし、面接の練習を重ねていくうちに、先生方や友達、家族のアドバイスや励ましにより、自分が付き、試験に望むことができました。そして、本番では、少し緊張したけど、作文では自分の思うどおりに書くことができ、面接では、質問に対して自分なりに答えることができました。こうして安心して試験に望めたのはいろんな人の支えがあったからだと思います。だからこの感謝の気持ちを忘れず今後活かしていきたいです。ここまで頑張ったので、無事合格してほしいです！

私は、入試まで色々な人に支えてもらいました。まず校長先生には、何度も面接練習をしてもらい、的確な指示を出してもらいました。作文では、何度も書き先生方にみてもらいました。このように、いろいろな方々のおかげで前日の夜は、良く眠ることができ、本番の入試では、程よい緊張感を持ち自信を持って挑むことができました。そして家族には、前日の夜まで面接の練習を手伝ってもらったり、励ましてもらい自信がつきました。

私を支えてくれた方々に感謝したいです。